

私の決意

この国には、はかりしれない可能性があります。
人類史上で、その先頭を走る健康長寿社会。世界があこがれる、
自然、食、文化、治安。そして、一人ひとりの努力、勤勉さ、忍耐強さ。
日本経済も社会も、もっと豊かになれるはずです。

ところが、旧態依然とした政治が、日本を衰退させてきました。
格差が拡大し、自己責任論を押し付けられ、社会に深刻な分断がもたらされました。
多様性や新しい価値観がなかなか認められず、不寛容な空気が社会を覆っています。
これまでの政治は、あまりにも人を粗末にしてきました。
全ての人々に、居場所と出番のある社会への転換が必要です。

まだ間に合います。「変わらない政治」と決別して、
人と地域に軸足を置いた「人にやさしい政治」をめざします。

働き盛り
44歳！

1979年12月 愛知県江南市生まれ
2002年3月 立命館大学法学部法学科 卒業
2006年3月 立命館大学大学院社会学研究科 修士課程修了
2007年5月 愛知県江南市議会議員
～2020年11月 連続当選4回（通算13年1ヶ月在職）
2020年11月 富山市に移住し、国政をめざした活動を開始
2022年7月 参議院議員選挙（富山県選挙区）に立候補
現在 立憲民主党富山県総支部連合会 副代表
立憲民主党富山県第1区 総支部長

趣味 ... フランス語の学習 旅行

人からはじまる日本再生

子ども・子育てを社会をあげて応援します

場当たりの支援策では少子化を止めることはできません。
結婚・出産・子育て・学びに立ちはだかる「壁」を取り除くため、
切れ目のない支援を断行します。

子ども予算を抜本的に強化し、子育てや教育の経済的負担を減らします。賃上げの
加速や労働法制の強化など働き方改革を進め、希望がかなう社会をつくります。

真の立憲主義を確立します

緊迫化する国際情勢や近隣諸国の動向を理由に、防衛費倍増（5年間で43兆円）や
「敵基地攻撃能力」の保有が議論されています。
こうした動きは「抑止力」にならないばかりか、近隣諸国との緊張を高め、
一層の軍拡を招きかねません。

不測の事態に備えて、専守防衛を遵守して真に必要な防衛力を整備します。
同時に、国際協調に基づいた平和外交を積極的に展開します。
憲法が掲げる「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」を堅持し、
立憲主義を深化させる観点から未来志向の憲法議論を行います。

国民の暮らしを守り抜きます

- ✓ 能登半島地震の被災者の生活再建に向けた支援
- ✓ 雇用は「無期・直接・フルタイム」を基本原則に
- ✓ 中小企業・フリーランスへの賃上げ支援
- ✓ 消費税のインボイス制度の廃止
- ✓ まともに暮らせる年金制度の確立
- ✓ 地域公共交通の運行支援
- ✓ 農業者戸別所得補償制度の復活と自給率向上
- ✓ 文化芸術の振興で心豊かな社会に

